

製品名: GFRP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11417**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GCHFR
別名	GCHFR; GFRP; GTP cyclohydrolase 1 feedback regulatory protein; GFRP; GTP cyclohydrolase I feedback regulatory protein; p35
遺伝子 ID	2644.0
SwissProt ID	P30047
免疫原	抗血清はヒト GCHFR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

背景

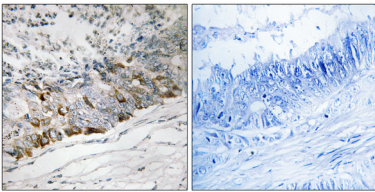
GTP シクロヒドロラーゼ I フィードバック調節タンパク質は、GTP シクロヒドロラーゼ I に結合し、テトラヒドロビオプテリンによる

阻害を媒介する。この調節タンパク質 GCHFR はホモ二量体で構成される。GCHFR は、肝臓におけるフェニルアラニン代謝の調節、および生体アミン神経伝達物質と一酸化窒素の産生に関与していると考えられている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: テトラヒドロピオプテリンによる GTP シクロヒドロラーゼ I 阻害を媒介する。この阻害は L-フェニルアラニンによって解除される。類似性: GFRP ファミリーに属する。サブユニット: ホモ五量体。GCH1 ホモ二量体が 2 つの GFRP ホモ五量体に挟まれた複合体を GCH1 と形成する (類似性による)。GCH1 と相互作用します。組織特異性: 表皮では、主に基底未分化ケラチノサイトで発現し、一部のメラノサイトではすべてではありません (タンパク質レベル)。

研究分野

-

画像データ



GCHFR 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。